

2021 AOTS ウェビナー KROP18 DX化がもたらすビジネス・モデルの変容とコロナ禍以後の経営課題

—新たな市場参入を目指すための ICT—

主催：一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）
協力：AOTS 各国同窓会

背景

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTSのウェビナー「DX化がもたらすビジネス・モデルの変容とコロナ禍以後の経営課題 —新たな市場参入を目指すための ICT—」（KROP18）は、開発途上国在住の企業経営者、経営幹部、上級管理者を対象としたオンラインセミナー（ウェビナー）です。DX化の流れに照らして自社のビジネス・モデルを見直し、競争力を強化して事業の継続性を確保していくために必要な知識を学びます。

概要

DX（Digital Transformation）化の波は業種を問わず企業活動に多大な影響を与えています。これにより、開発・設計・製造・製品販売の一連の流れを前提とした従来のビジネス・モデルから、製品のインターネット接続による効果・メリットをサービスとして提供することで、継続的な販売利益を得るビジネス・モデルへの転換が進んでいます。また、製品に様々なサービスが付加されることにより、製造業とサービス業の業種の境界そのものが希薄になってきています。

今後各企業が競争優位性を確保しつつDX化がもたらした新たな市場に参入を果たしていくためには、DXの本質やIoT（Internet of Things）の役割を始めとして、DXを支える情報基盤等の背景を理解した上で、DX化がもたらす課題に対して具体的な対応策を講じていかなければなりません。特に、中小企業の立場から見たDX化の課題として、事業推進のためのアプローチ方法、新たなヴァリューチェーンへの進出方法、いわゆるヴィジョナリー人材・DX人材の育成、内部価値の創出とアウトソーシングなどが挙げられます。

本ウェビナーでは、これらについて理解を深め、既存のビジネス・モデルにおける競争力を強化しつつ、新たにソリューション・ビジネスの創出へと方向転換を図っていく道筋の確立方法と、コロナ禍以後の様々な経営課題への対応策について具体的に理解し、自社においてより効果的にリーダーシップを発揮していくことができるようになることを目指します。

ねらい

企業の経営者、経営幹部、上級管理者が、以下の目標を達成することを目指します。

- 1) IoT、ビッグデータ・アナリティクス、AIなどDX化がもたらすビジネス・モデルの変容と関連するデジタル技術の概念について把握する。
- 2) DXの本質、現状、競争力実現のための情報基盤、新たな市場参入の必要性を含むDX化を促進する要因を理解する。
- 3) コロナ禍以後の企業活動を牽引するためのリーダーシップ能力を幅広く養う。

日時

2022年1月18日（火）16:00-19:00（日本時間）

*ご参加地域でのウェビナー開始時間については、【Table1】各国時差表（対象ゾーン）で確認するか、チラシに記載のAOTS同窓会にお問い合わせください。

参加対象国

アジア、大洋州、中東、アフリカ、ヨーロッパの開発途上国
※具体的な対象国名は【Table 2】対象国リストをご参照ください。

参加定員

200名

参加対象者

参加対象国に在住の企業の経営者、経営幹部、上級管理者 等

[その他の参加要件]

*本研修の参加者は、本コースで定める業務内容や経験、職位以外に以下の基本要件を満たす必要があります。

- a) 原則として研修実施国に居住及び勤務をしている方
（日本人はご参加いただけません）
- b) 会社もしくは団体に所属する方
- c) 参加時の年齢が20歳以上の方
- d) 英語による研修内容の理解が可能な方
- e) 単に籍を置いていない方

[注意]

- 1) 日系企業や現地資本企業以外からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が低くなります。
- 2) 本研修は、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関に所属する方は参加できません。

講義内容（予定）

- 1) DX化がもたらすビジネス・モデルの変容と関連するデジタル技術の概念
- 2) 企業がDX化に対応するために取り組むべき課題
- 3) コロナ禍以後の経営課題を解決し企業活動を牽引するリーダーシップ

講師



住田 潮 博士

筑波大学名誉教授、慶応義塾大学大学院経営管理研究科 非常勤講師

1981年 米国ロチェスター大学 博士号取得

1987年 東京工業大学 理学博士

筑波大学大学院、国際大学国際経営学研究科、慶応義塾大学大学院、米国ロチェスター大学経営大学院、シラキュース大学工学部など数多くの大学で教鞭を取る。研究領域は応用確率論、確率過程論、金融工学、e-マーケティング、情報通信技術、生産・物流システム、組織論、国際経営比較その他広範囲に及び。これらの分野で160本を超える学術論文を専門誌に発表すると共に、米国・日本両国でビジネス・コンサルタントとしても活躍する。米国滞在歴15年。

使用言語

講義は英語で行われます。配布資料は英語で作成されます。

参加費

無料 本セミナーは経済産業省の補助金とAOTS各国同窓会の協力により実施されます。

申込方法

最寄りのAOTS同窓会から申込書を受け取り、締切日迄にAOTS同窓会の担当者宛にメールでお申込みください。応募締切日後、AOTSによる参加者選考が行われ、選定された参加者にはご応募のAOTS同窓会からメールでご連絡します。お住いの国（地域）にAOTS同窓会がない場合は、最も近い地域の同窓会を通じてお申し込みください。

*AOTS同窓会一覧につきましては下記をご参照ください。<https://www.aots.jp/en/alumni/about/>

申込締切日

2021年12月21日（火）（日本時間）

締切日後、ご参加の可否についてお住いの地域の各AOTS同窓会からメールでご連絡いたします。

使用ツール

Zoom Webinar

- ◇ 参加者として選定された方にはご応募の同窓会から招待メールが送られます。招待メール内の指示に従い、ウェビナーへのご参加登録をお願いします。
- ◇ ご参加登録後、登録者には登録確認メールが届きます。メール本文にウェビナーご参加のためのボタンがありますので、当日はこのボタンをクリックしてウェビナーにご参加ください。
- ◇ ご招待メールが届かない場合は、ご応募の AOTS 同窓会迄ご連絡ください。

注意事項

- ◇ 今回のウェビナー参加では、AOTS 修了証書は付与されません。
- ◇ 複数名で一台の PC を共有するグループ視聴が認められています。詳細はご応募の AOTS 同窓会にお問合せください。
- ◇ ご提供いただいた個人情報、参加者の同意に基づき、AOTS の他研修プログラムの広報およびアンケート実施のために利用することがあります。
- ◇ 配布資料を無断で複製、改変、配布、転載、または講義内容を撮影することは、固くお断りいたします。受講に当たっては違反行為を行わない旨、誓約をしていただきます。
- ◇ 不可避の事故（戦争、暴動、労働争議、地震、暴風雨、火災、洪水、疫病の蔓延等）やネットワーク・機器トラブル等が起こった場合、AOTS はウェビナーの実施を中止することがあります。
- ◇ ミーティング参加のために付与されるミーティング情報（リンク、番号、パスワード）は無断で参加者以外の方に譲渡しないでください。
- ◇ 参加者が、不可避の事故やネットワークトラブル等により、ウェビナーへの参加・継続が困難になった場合でも、AOTS は責任を負いません。

お問合せ

一般財団法人 海外産業人材育成協会

事業統括部 海外協力グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東 1-30-1

電話：03-3888-8256 Fax：03-3888-8242 E-mail: webinar-kaijyo@aots.jp

【Table 1】 各国時差表（対象ゾーン）

※AOTS 同窓会のある国のみを記載しています

国（地域）	日本との時差
モンゴル（ウランバートル）	－1時間
マレーシア	－1時間
フィリピン	－1時間
カンボジア	－2時間
インドネシア（ジャカルタ）	－2時間
タイ	－2時間
ベトナム	－2時間
ミャンマー	－2時間30分
バングラデシュ	－3時間
ネパール	－3時間15分
インド	－3時間30分
スリランカ	－3時間30分
パキスタン	－4時間
ジョージア	－5時間
イラン	－5時間30分（－4時間30分）
エチオピア	－6時間
ケニア	－6時間
タンザニア	－6時間
トルコ	－6時間
エジプト	－7時間
南アフリカ	－7時間
スーダン	－7時間
ザンビア	－7時間
カメルーン	－8時間
ナイジェリア	－8時間
北マケドニア	－8時間（－7時間）
ガーナ	－9時間

【Table 2】対象国リスト

参加者は以下の国に居住している必要があります。

アジア (24)	大洋州 (15)	中東 (9)	ヨーロッパ (10)
アフガニスタン	キリバス	アゼルバイジャン	アルバニア
イラン※ ¹	サモア	アルメニア	ウクライナ
インド	ソロモン諸島	イエメン	北マケドニア
インドネシア	ツバル	イラク	コソボ
ウズベキスタン	トケラウ	ジョージア	セルビア
カザフスタン	トンガ	シリア	トルコ
カンボジア	ナウル	パレスチナ	ベラルーシ
キルギス	ニウエ	ヨルダン	ボスニア・ヘルツェゴ ビナ
スリランカ	バヌアツ	レバノン	モルドバ
タイ	パプアニューギニア		モンテネグロ
タジキスタン	パラオ		
トルクメニスタン	フィジー		
ネパール	マーシャル諸島		
パキスタン	ミクロネシア		
バングラデシュ	ワリス・フツナ		
東ティモール			
フィリピン			
ブータン			
ベトナム			
マレーシア			
ミャンマー			
モルディブ			
モンゴル			
ラオス			

※ イランは南アジア AOTS 同窓会連合の一員として中東ではなくアジア地域に分類します。

アフリカ (54)	
アルジェリア	セントヘレナ島
アンゴラ	ソマリア
ウガンダ	タンザニア
エジプト	チャド
エスワティニ	中央アフリカ
エチオピア	チュニジア
エリトリア	トーゴ
ガーナ	ナイジェリア
カーボヴェルデ	ナミビア
ガボン	ニジェール
カメルーン	ブルキナファソ
ガンビア	ブルンジ
ギニア	ベナン
ギニアビサウ	ボツワナ
ケニア	マダガスカル
コートジボワール	マラウィ
コモロ	マリ
コンゴ共和国	南アフリカ
コンゴ民主共和国	南スーダン
サントメ・プリンシペ	モザンビーク
ザンビア	モーリシャス
シエラレオネ	モーリタニア
ジブチ	モロッコ
ジンバブエ	リビア
スーダン	リベリア
赤道ギニア	ルワンダ
セネガル	レソト